

野菜需給協議会現地協議会の報告

平成22年9月2日（木）に長野県南佐久において野菜需給協議会現地協議会を開催しました。

1 レタス収穫見学

朝5時過ぎから圃場にて収穫風景を見学しました。ここではレタスの今年の生育状況や栽培・収穫方法等について説明を受けるとともに、併せてレタス収穫を体験しました。参加会員は最盛期には深夜2～3時から投光器を灯して収穫していることも実体験として認知しました。

2 意見交換会

8時30分から南牧村野辺山基幹集落センターにおいて実施しました。全農長野県本部・長野八ヶ岳農協から産地の現状について説明を受け、その後、会員との意見交換を実施しました。

産地側からは、産地の実態を説明するなかで、野菜価格安定事業が唯一の支えとなっているとの発言がありました。

また、参加会員からは、

- ① 夏はくさいの需給調整が2年連続で実施されたが、生産計画はどのように実施しているのか。
 - ② 現在、レタスの値段が高いが、農家の苦勞を知って、野菜の高値について過剰に反応している姿勢を改めなければいけないと思った。
- といった質問・意見が出されました。

3 集出荷施設見学

9時45分から長野八ヶ岳農協板橋集荷場を見学しました。ここでは予冷の方法・集出荷工程等について説明を受けました。

4 参加会員の主な感想

参加会員からは、

- ① 勉強になった。農家がまだ深夜のうちから収穫するなど現地が大変苦勞されているのが分かった。
 - ② 産地と消費者の距離が縮まることに繋がる非常に良い機会であった。
- といった感想が聞かれました。



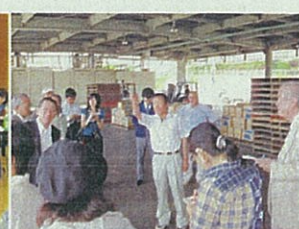
レタス収穫見学



収穫体験した
レタスの試食



意見交換会



集出荷施設見学